

各位

病害虫防除所長

平成 21 年度病害虫発生予察技術情報資料（第 8 号）の送付について

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ等）の発生状況について

最近、ツヤアオカメムシが街灯に多く飛来するようになっていますが、果樹カメムシ類の発生が下記のとおり増加する可能性がありますので、果樹園への飛来には十分に注意してください。

本県では、9 月に入り果樹カメムシ類のフェロモントラップへの誘殺数が増加しており、県内合計値は平年の 1.6 倍の誘殺数となっています（表 1）。また、果樹カメムシ類のカキ果実への吸汁被害調査では 9 月中旬より被害果率が高まっており、過去 2 年間と比較しても多く（表 2）、被害発生圃場では主にチャバネアオカメムシが確認されています。

本年は 2～3 月にスギ・ヒノキ花粉飛散量が多かったことから、チャバネアオカメムシやツヤアオカメムシの繁殖源であるスギ・ヒノキの球果が多いことが推測されます（第 2 図）。また、7～8 月に大雨がなかったことから、当年世代の繁殖条件が比較的好適であったことが推測できます。

今後、台風などの強風により山林のスギ・ヒノキからチャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシが離脱して、ナシ・カキ・カンキツなどの果樹園に飛来し、果実被害が増加する恐れがありますので、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努めてください。

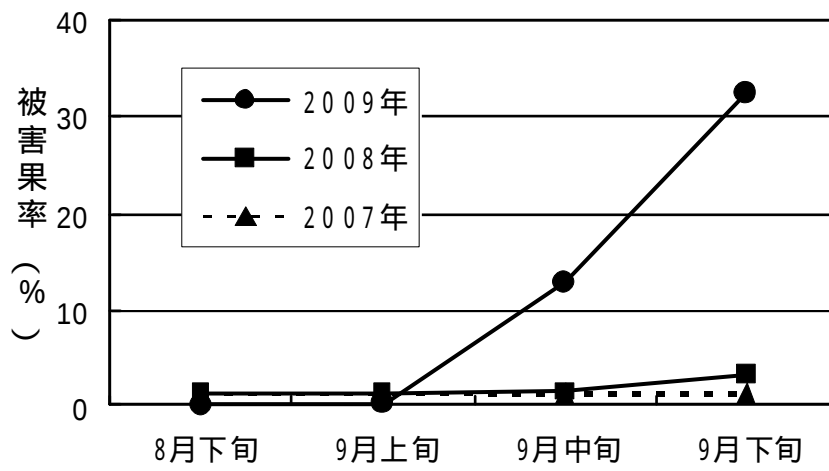
表 1：9 月の果樹カメムシ類¹のフェロモントラップ誘殺数(頭)

地点 ²	県東部	中央部	中西部	西部	県内合計 (平年比, 前年比)
2009 年	40	194	100	300	634 (156%, 173%)
2008 年	1	85	222	59	367
2007 年	8	44	10	25	87
平年 ³	74	87	42	202	405

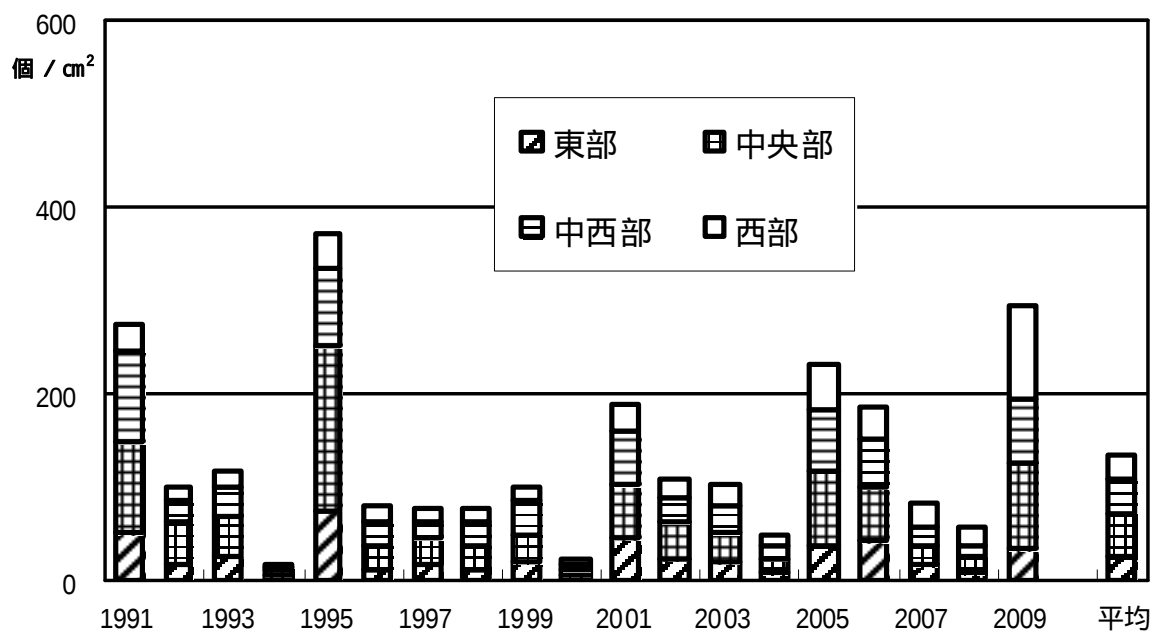
1：チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシの合計

2：東部：安芸市井ノ口、中央部：香美市土佐山田町鏡野、中西部：須崎市戸波浦、西部：四万十市名鹿

3：2000～2008 年、9 ヶ年平均



第1図 カキ果実の吸汁被害果の推移(4ほ場平均)



第2図 高知県の年別スギ、ヒノキの花粉飛散量(1～5月:1日当たり)